



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバル

コード番号 8275 URL <https://www.forval.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 將典

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二 TEL 03-3498-1541

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	14,328	9.8	446	150.8	532	74.9	253	329.6
2023年3月期第1四半期	13,050	15.3	178	△44.8	304	△10.7	59	△83.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 353百万円 (153.8%) 2023年3月期第1四半期 139百万円 (△71.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	9.87	9.87
2023年3月期第1四半期	2.30	2.30

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	33,025	15,231	43.1
2023年3月期	35,858	15,636	40.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 14,245百万円 2023年3月期 14,632百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	27.00	27.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	0.00	-	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	4.1	3,000	22.8	3,000	10.4	1,900	13.1	73.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	27,732,622株	2023年3月期	27,732,622株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,022,477株	2023年3月期	2,022,477株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	25,710,145株	2023年3月期1Q	25,635,045株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産は海外経済の回復ペースが鈍化する一方で供給制約の影響の緩和により横ばいの動きとなりました。企業収益は全体として高水準で推移し、設備投資や雇用・所得環境も緩やかに改善し、個人消費は物価上昇の影響を受けつつも緩やかに増加しました。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、I o T、A Iなどを活用したサービスが拡大しています。

このような経営環境下、当社グループは「次世代経営コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、中小・小規模企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育）」、「企業のライフサイクルに対応した経営コンサルティングサービス（起業・事業承継）」の5分野において他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

現在は、国の「経済財政運営と改革の基本方針2023 加速する新しい資本主義～未来への投資の拡大と構造的賃上げの実現～」に則ってF-Japan戦略を推進し、骨太方針の中でも特に「グリーン」「デジタル」「活力ある地方創り」「少子化対策」に着目し、自治体・民間企業・教育機関と連携し、地域経済活性化のためのDX促進に取り組んでいます。

地方自治体の運営を取り巻く環境は大きく変化しており、活力ある地方を取り戻すためには、地域の産業を復興し住民の生活の質を向上させ地域としての魅力を高めていく必要があります。そのためには、デジタルを活用した行政サービスを提供していくことが必須となっており、国もその実現に向けて全面的に支援しています。

当社グループが注力しているF-Japan戦略は日本全国でDX・GX人材を育て、その人材が地元経済を活性化させるという好循環が永続的な地方創生を実現するのに不可欠であると考えており、その実現に向けて各地方自治体における「DX・GX人材の育成」「DX・GX人材の就職・起業」「DX・GX人材による地域経済の活性化」の仕組みづくりを、デジタル人材を派遣し、現状や課題を可視化しながら伴走支援しています。

このような状況下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のようになりました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、中小・小規模企業におけるDX推進の機運の高まりを受けてアイコンサービスが順調に拡大した結果、売上高は前年同期に比べ1,278百万円増加し、14,328百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

利益面では売上総利益が前年同期は電力の仕入価格上昇の影響を受けた反動もあり前年同期に比べ658百万円増加（前年同期比14.4%増）した一方で、販売費及び一般管理費は前年同期に比べ389百万円増加（前年同期比8.9%増）にとどまった結果、営業利益は446百万円（前年同期比150.8%増）、経常利益は受取配当金の減少等により532百万円（前年同期比74.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は253百万円（前年同期比329.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <フォーバルビジネスグループ>

アイコンサービスやビジネスフォンの販売が増加した結果、売上高は7,232百万円（前年同期比15.6%増）、セグメント利益は174百万円（前年同期比187.9%増）となりました。

#### <フォーバルテレコムビジネスグループ>

新電力サービスが減少した結果、売上高は5,120百万円（前年同期比5.5%減）、前年同期は電力の仕入価格上昇の影響を受けた反動もありセグメント利益は183百万円（前年同期比88.0%増）となりました。

#### <総合環境コンサルティングビジネスグループ>

太陽光発電システムやLEDの販売が増加した結果、売上高は1,305百万円（前年同期比74.7%増）、セグメント利益は33百万円（前年同期はセグメント損失28百万円）となりました。

#### <その他事業グループ>

セミナーやIT技術者の派遣事業が増加した結果、売上高は670百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は118百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,832百万円減少し33,025百万円となりました。

流動資産は21,563百万円となり、前連結会計年度末比3,575百万円の減少となりました。これは主として現金及び預金の減少858百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少2,427百万円、未収入金の減少379百万円によるものです。

固定資産は11,462百万円となり、前連結会計年度末比742百万円の増加となりました。これは主として有形固定資産の増加240百万円、投資その他の資産の増加448百万円によるものです。

流動負債は14,227百万円となり、前連結会計年度末比2,699百万円の減少となりました。これは主として短期借入金の増加502百万円に対し、支払手形及び買掛金の減少1,979百万円、未払金の減少394百万円、未払法人税等の減少457百万円によるものです。

固定負債は3,567百万円となり、前連結会計年度末比271百万円の増加となりました。これは主として長期借入金の増加143百万円、リース債務の増加101百万円によるものです。

純資産は15,231百万円となり、前連結会計年度末比405百万円の減少となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益253百万円に対し、配当金の支払い694百万円により株主資本が440百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績は現時点で概ね想定した範囲内で推移しており、2023年5月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,162,826	10,304,349
受取手形、売掛金及び契約資産	9,321,191	6,893,485
リース投資資産	233,228	222,398
商品及び製品	797,645	725,683
仕掛品	89,276	96,981
原材料及び貯蔵品	292,580	288,416
未収入金	1,908,205	1,528,745
その他	1,442,680	1,615,351
貸倒引当金	△109,065	△112,052
流動資産合計	25,138,568	21,563,359
固定資産		
有形固定資産	1,644,015	1,884,545
無形固定資産		
のれん	1,734,942	1,687,428
その他	1,309,836	1,410,618
無形固定資産合計	3,044,779	3,098,047
投資その他の資産		
投資有価証券	2,252,156	2,393,550
破産更生債権等	2,304,814	2,305,723
繰延税金資産	1,999,800	1,887,068
その他	1,754,492	2,172,810
貸倒引当金	△2,280,097	△2,279,496
投資その他の資産合計	6,031,166	6,479,655
固定資産合計	10,719,960	11,462,248
資産合計	35,858,529	33,025,607
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,303,448	5,323,560
短期借入金	1,925,368	2,427,818
未払金	3,062,465	2,668,005
未払法人税等	636,701	178,933
賞与引当金	738,035	376,309
役員賞与引当金	216,463	77,990
その他	3,043,925	3,174,740
流動負債合計	16,926,407	14,227,358
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	162,786	306,049
退職給付に係る負債	2,796,915	2,800,331
役員退職慰労引当金	65,543	46,928
繰延税金負債	5,242	9,536
持分法適用に伴う負債	29,574	21,779
その他	135,147	282,569
固定負債合計	3,295,208	3,567,194
負債合計	20,221,615	17,794,552

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,653,732	2,653,732
利益剰余金	8,407,909	7,967,406
自己株式	△1,194,473	△1,194,473
株主資本合計	14,017,463	13,576,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	624,611	644,805
為替換算調整勘定	16,681	49,439
退職給付に係る調整累計額	△26,417	△25,327
その他の包括利益累計額合計	614,874	668,917
新株予約権	19,224	18,917
非支配株主持分	985,351	966,259
純資産合計	15,636,913	15,231,055
負債純資産合計	35,858,529	33,025,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	13,050,257	14,328,692
売上原価	8,484,697	9,105,107
売上総利益	4,565,560	5,223,584
販売費及び一般管理費	4,387,370	4,776,668
営業利益	178,189	446,916
営業外収益		
受取利息	862	1,024
受取配当金	20,774	12,841
持分法による投資利益	58,766	55,291
その他	50,387	36,006
営業外収益合計	130,790	105,164
営業外費用		
支払利息	4,167	3,595
長期前払費用除却損	—	14,483
その他	522	1,657
営業外費用合計	4,689	19,736
経常利益	304,291	532,343
特別利益		
固定資産売却益	—	318
投資有価証券売却益	—	11,476
新株予約権戻入益	322	307
特別利益合計	322	12,102
特別損失		
固定資産除売却損	0	13,210
投資有価証券評価損	70	—
特別損失合計	70	13,210
税金等調整前四半期純利益	304,543	531,235
法人税、住民税及び事業税	69,649	131,215
法人税等調整額	148,073	100,129
法人税等合計	217,722	231,344
四半期純利益	86,820	299,890
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,772	46,219
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,048	253,671

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	86,820	299,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,150	20,194
退職給付に係る調整額	870	1,089
持分法適用会社に対する持分相当額	32,595	32,758
その他の包括利益合計	52,616	54,043
四半期包括利益	139,437	353,933
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,665	307,714
非支配株主に係る四半期包括利益	27,772	46,219

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フオーバル ビジネス グループ	フオーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	6,255,201	5,419,708	747,010	12,421,920	628,336	13,050,257
外部顧客への売上高	6,255,201	5,419,708	747,010	12,421,920	628,336	13,050,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	110,378	108,625	4,266	223,271	48,142	271,413
計	6,365,580	5,528,334	751,277	12,645,191	676,478	13,321,670
セグメント利益	60,616	97,832	△28,313	130,135	108,869	239,004

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	130,135
「その他」の区分の利益	108,869
セグメント間取引消去	856
のれん償却額	△61,670
四半期連結損益計算書の営業利益	178,189

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「フオーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、㈱アベヤス及び㈱進駿堂販売の株式を取得し、当第1四半期連結会計期間より連結範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては79,148千円であります。

なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	7,232,046	5,120,852	1,305,058	13,657,958	670,734	14,328,692
外部顧客への売上高	7,232,046	5,120,852	1,305,058	13,657,958	670,734	14,328,692
セグメント間の内部 売上高又は振替高	120,837	110,728	5,723	237,289	45,324	282,613
計	7,352,884	5,231,581	1,310,781	13,895,247	716,058	14,611,305
セグメント利益	174,510	183,911	33,840	392,262	118,966	511,228

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	392,262
「その他」の区分の利益	118,966
セグメント間取引消去	578
のれん償却額	△64,890
四半期連結損益計算書の営業利益	446,916

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、㈱三知の株式を取得し、当第1四半期連結会計期間より連結範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては28,322千円であります。

なお、のれんの金額は、当第1四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。